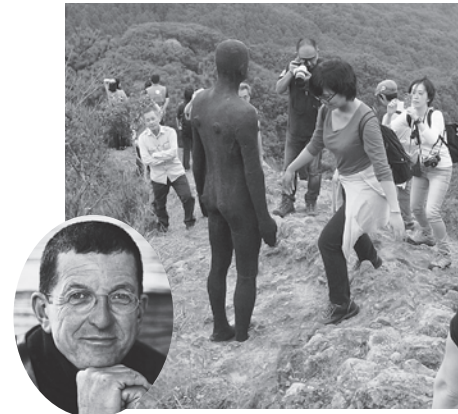


千燈プロジェクト／アントニー・ゴムリー「ANOTHER TIME XX」



国見町の五辻不動尊に至る山中に立つ鉄の人体像は、作者の身体をかたどったものです。像の見つめる先には、国東半島の雄大な景色が広がっています。無垢の鉄でできた像は風雨にさらされて赤黒くさび、刻一刻とその姿を変化させています。
ふもとの不動茶屋では、ガイドツアーの受付も行われています。



その他にも

集ういえ／「希望の原理」スタジオクラ

国見ギャラリー通りの中にある「集ういえ」の2階を、アートカンパニースタジオクラ（福岡県糸島市）がかわいらしく模様替えしました。ここでしか注文できない「シカ肉ハムのバーガーセット」（1000円）もおススメです。



石川直樹写真展／石川直樹サテライト展

国見町岐部の国見ふるさと展示館では、国東半島を3年間撮りつづけてきた石川直樹さんの写真展が開催中です。（入館料200円）
また、国東町鶴川の古民家レストランZECCOでは、「髪」をテーマにしたサテライト展も行われています。



香々地、並石の既作品に加え、真玉プロジェクトでは、旧縫製工場
でチームラボのデジタル映像作品を見ることが出来ます。室内を歩く人の動きにあわせて、国東の花々が変化する映像アートです。
また、旧香々地町役場では、若手アーティストの作品や、既存の美術品の展覧会「希望

豊後高田市では

の原理」が行われています。
豊後高田市の総合インフォメーションセンター横では「西光祐輔写真展」、昭和の町展示館では皆さんから応募された「わたしのとおきフォトコンテスト写真展」を開催中です。

限定グッズを手に入れよう

芸術祭インフォメーションセンター（国東市サイクリングターミナル、豊後高田市バスターミナル）では、芸術祭グッズや関連商品を好評発売中です。
ここでしか手に入らない限定のもの！



開催中の応援プロジェクト

- 案山子を見ながら、富来路開運ロードを楽しくドライブ！
文溪里の会「案山子アートコンテスト」
- 花咲きロードでおもてなし
櫛海なっとかすっ会、松原フラワー会
- 大分空港で作品展示中
「アートで学んだよ！動物愛護」
国東こども園（写真）
- 国見ギャラリー通りの不思議な空き家
GREEN DOORS



まだまだ
楽しめる！

国東半島芸術祭



KUNISAKI
ART
FESTIVAL

11月30日(日)まで開催中 鑑賞時間10時～17時（最終受付16時30分）※水曜定休

10月4日に開幕した「国東半島芸術祭」も、いよいよ後半。各会場には、連日県内外から見学者が訪れています。まだ見ていないという皆さんも、各地域で行われている催しをチェックして、おでかけしませんか？



芸術の秋 開幕「オープニング・アーティストトーク」

10月4日に開催されたオープニングセレモニー。会場の国見みんなかんホールは、芸術祭関係者と市民や芸術に興味のある皆さんで満員に。国東半島芸術祭実行委員会々長の二日市具正副知事や三河明史国東市長、永松博文豊後高田市長が、多くの人に国東半島に来ていただきたいとあいさつしました。
引き続き、アーティストの宮島達男さんと川俣正さんが、国東市内で公開している作品について、製作過程や地元住民との交流の様子を楽しく語りました。



成仏プロジェクト／宮島達男「Hundred Life Houses」



国東町成仏区の皆さんと全国から集まった若者など総勢100人が、コンクリートハウスの型枠を彫り、デジタルカウンターのスピード調整を行った作品です。薄闇の山中に小さな明かりが集まった様子は、あたかも炎が燃え上がっているかのように見えます。
受付会場では、成仏桜会の皆さんが毎日おせつたいでおもてなし。日替わりのとれたて野菜や岩松・山野草の鉢植え、宮島達男さん公認グッズも大好評です。



お土産物も
充実しています。

岐部プロジェクト／川俣正「説教壇」

国見町岐部地区の城山公園に置かれた木製の回廊「説教壇」。ペトロ・カスイ岐部神父ゆかりの地を象徴する作品です。はるか海のかなたのエルサレムを夢見たペトロ・カスイ岐部神父のように、樹木の間から岐部湾を望んでみませんか。
回廊周辺には、地域の子も達が作った鳥の巣箱も取り付けられ、鳥のさえずりと木々のざわめきが心地よく聞こえてきます。
受付会場では、地域の方々がにこやかにお客様を出迎えてくれます。



【問合せ先】国東半島芸術祭実行委員会事務局 公式サイト <http://kunisaki.asia>
☎0978-25-5627 Fax0978-25-5628 Eメール info@kunisaki.asia